



十一日午後六時から駿河台本館  
九号館九一番教室、約二〇〇名  
の学生の参加のもとに全二部共闘  
会議結成大会が開かれた。  
この日、議長団を選出した後、  
各学部・サークル・寮の各團委委員  
からこれまでの闘争過程、情況の  
報告がなされた。この中で吉学  
共闘会議は小川町校舎を大学側が  
使用していることに強い抗議を表  
すが粘り、スト権を拍手をもって承

認めた。

十一日午後六時から駿河台本館  
九号館九一番教室、約二〇〇名  
の学生の直接民主制であり、ブル  
ジョア秩序に対しするわれわれの  
運動は代行権力制に変わるものとしての  
運動を展開して行かなければなら  
ない、と二部共闘会議の任務と方  
針についてアピールした。

これらの発言・アピールが終っ  
た午後八時すぎ全二部のスト権を  
拍手をもって確立された。しか  
しその日の参加者の拍手で確立する  
ことに対して会場から不満の声が  
聞かれ、「ここでスト権を確立し  
ても、それは形式的であり、実  
体がついて行かないと思つ。それ  
を知りながら行なうのは矛盾しな  
いか」という発言がなされた。こ  
れに対して本間学苑会事務局長  
は、「スト権を確立するか否かは  
う聞くかの問題である」と述べた

## 全二部共闘会議が結成

—スト権の確立も決まる—

### 11日 議長に本間君を選出

明し、断固これを自分達の手に封  
鎖することを宣言した。

じの後、駿河台本館議長から  
学生運動の総括が行なわれ、こ  
れまでの学苑会運動でなし得なか  
った活動を共闘運動に転換する  
ことによって、さらに活発な運動  
を展開して行きたいと表明した。

次に議長委の中島君が壇上に立ち  
大学紛争の中での全共闘運動の果  
して重要性を強く訴え、金井副運  
動は代行権力制に変わるものとしての  
運動を展開して行かなければなら  
ない、と二部共闘会議の任務と方  
針についてアピールした。

これらの発言・アピールが終っ  
た午後八時すぎ全二部のスト権を  
拍手をもって確立された。しか  
しその日の参加者の拍手で確立する  
ことに対して会場から不満の声が  
聞かれ、「ここでスト権を確立し  
ても、それは形式的であり、実  
体がついて行かないと思つ。それ  
を知りながら行なうのは矛盾しな  
いか」という発言がなされた。こ  
れに対して本間学苑会事務局長  
は、「スト権を確立するか否かは  
う聞くかの問題である」と述べた

最後に、全二部共闘会議の組織  
形体を、議長、副議長、書記長の  
三役のもとに各学部・サークル  
・寮から各三名の構成メンバーに  
よる書記局をおくことが決定され  
た。投票入事に移った。

人事は立候補、推薦によって行  
なわれ、議長には本間景豪（学苑  
会事務局長正文四）と齊藤雅章  
（文三）の兩君、副議長には中島  
悦勝君（商二）、書記長には駿谷  
久雄（学苑会委員長・法四）と上  
森光一郎（文三）の兩君がそれぞ  
れ推薦・立候補した。投票の結果  
八対六で上森君がそれぞれ選出  
された。

終了後、約二〇〇人が本校前を  
ジグザグデモを行ない、午後十時  
過ぎ解散した。

われわれが現在闘いつつある明  
大闘争は、東大、日大闘争の地  
半を切り開くものとして設定さ  
れている。観察的な学生運動か  
ら社会的存在としての学生運動  
への転換が渴望されているの  
だ。セクトをのりこえた形で運  
動を展開していくかねばならな  
い。

上森光一郎二部共闘会議書記長談